

伊那谷・経済動向

中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuschuo-shinkin.jp/>

ALSHIN
BANK

主要指標		今 期	前 年 同 期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内)		24/5 0.60 倍	23/5 0.50 倍	前年同月比 0.1 倍
電力使用量 (伊那営業所管内)	電 灯	3~5月 112,455千kwh	3~5月 112,981千kwh	-0.47 %
	電 力	3~5月 256,320千kwh	3~5月 270,659千kwh	-5.30 %
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新 車	7,365 台	4,520 台	62.94 %
	中古車	2,017 台	1,972 台	2.28 %
	合 計	9,382 台	6,492 台	44.52 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (上伊那地方事務所管内)		3~5月 149 件	3~5月 195 件	-23.59 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		21,767 人	21,054 人	3.39 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	289,436 台	283,116 台	2.23 %
	出	277,527 台	267,505 台	3.75 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	410,163 台	413,996 台	-0.93 %
	出	426,079 台	432,871 台	-1.57 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	313,661 台	310,480 台	1.02 %
	出	311,063 台	306,879 台	1.36 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	232,462 台	223,297 台	4.10 %
	出	224,452 台	214,784 台	4.50 %

前期 1 - 3月 今期 4 - 6月 来期 7 - 9月 10 - 12月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先219社に対し、平成24年4月～6月期の景気の現状と平成24年7月～9月期の見通しを調査したものです。

地区内の景況観

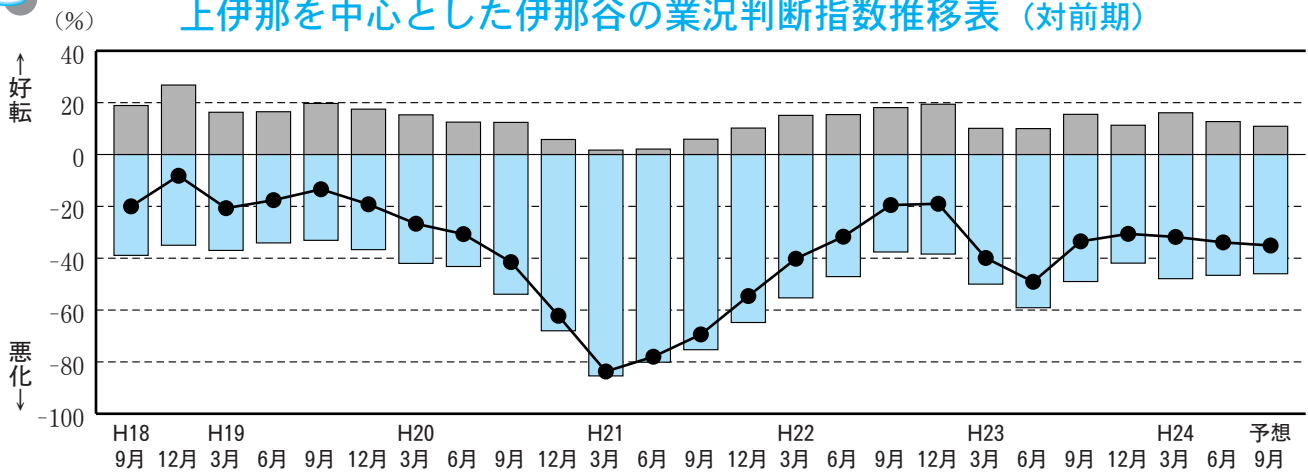
◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は12.7%（前期16.1%）、悪かったとする企業は46.6%（前期47.9%）で、DIは▲33.9（前期▲31.8）と前期より2.1ポイント悪化した。企業の業況感は円高の影響や海外経済の減速などにより足踏み状態となっている。

業種別のDIを見ると、**製造業▲38.4**（前期▲25.3）、**建設業▲32.6**（前期▲22.2）、**卸売業▲20.0**（前期18.2）、**小売業▲31.4**（前期▲46.1）、**サービス業▲34.5**（前期▲61.2）、**不動産業▲16.6**（前期▲33.3）となっており、全業種においてマイナス領域である。前期と比較して、**サービス業は26.7ポイント改善し好調感が強まった**。水面下ながら**小売業14.7ポイント、不動産業16.7ポイント改善しているが、製造業は13.1ポイント、建設業は10.4ポイント悪化幅が拡大した**。**卸売業は38.2ポイント悪化しマイナスに転じた**。

◇**来期の見通し**：来期の業況を総合的に見ると、DIは▲35.1（今期▲33.9）と1.2ポイント悪化、マイナス幅が拡大し低調感を強める業況予想である。

業種別で見ると、DIは**製造業▲35.9**（今期▲38.4）、**建設業▲34.1**（今期▲32.6）、**卸売業▲20.0**（今期▲20.0）、**小売業▲48.5**（今期▲31.4）、**サービス業▲31.0**（今期▲34.5）、**不動産業0.0**（今期▲16.6）と不動産業を除く業種がマイナス領域となっている。**製造業は水面下ながら2.5ポイント、サービス業3.5ポイント改善する見通しで、卸売業は今期と同様に低調推移する見通しである。建設業1.5ポイント悪化幅が増加し低調感を強め、小売業は17.1ポイント悪化し好調感が落ち込む見通しである**。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

業種別天気図

業種	時期	平成23年 10～12月期	平成24年 1～3月期	平成24年 4～6月期予想	平成24年 7～9月期
総合		☔	☔	☔	☔
製造業		☁	☁	☔	☔
建設業		☁	☁	☔	☔
卸売業		☁☔	☁☔	☁	☁
小売業		☔☔	☔	☔	☔
サービス業		☔	☔☔	☔	☔
不動産業		☔	☔	☁	☁



製 造 業 (調査先企業 81 社 うち回答企業 79 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**10.3%**（前期**20.3%**）、悪かったとする企業は**48.7%**（前期**45.6%**）でDIは▲**38.4**（前期▲**25.3**）と**13.1**ポイント悪化幅が拡大し、厳しさを増した。

各指標別で見ると、売上額では前期に比べDI▲**19.0**（前期▲**26.6**）で**7.6**ポイント持ち直した。受注残においてもDI▲**24.0**（前期▲**30.3**）と**6.3**ポイント持ち直した。また収益のDIも▲**29.5**（前期▲**36.7**）で**7.2**ポイント持ち直した。資金繰りのDIは▲**32.9**（前期▲**29.1**）で厳しさを増した。販売価格のDIは▲**16.5**（前期▲**16.7**）で横ばい傾向を示した。原材料価格のDIは▲**6.4**（前期▲**16.5**）と**10.1**ポイントマイナス幅が縮小し、原材料価格が上昇した企業は減少傾向で落ち着きを見せている。

前年同期比で見ると売上額はDI▲**34.1**（前年同期▲**13.6**）と**20.5**ポイント減少し、収益面においてもDI▲**34.1**（前年同期▲**29.6**）と**4.5**ポイント減少となった。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、良いと予想する企業は**11.5%**（今期**10.3%**）、悪いと予想する企業は**47.4%**（今期**48.7%**）で、DIは▲**35.9**（今期▲**38.4**）と**2.5**ポイント改善されたが低水準で推移する見通しである。

主な指標では、売上額はDI▲**16.5**（今期▲**19.0**）と**2.5**ポイント改善し、受注残はDI▲**24.1**（今期▲**24.0**）で今期とほぼ同様の見通しである。資金繰りのDIは▲**31.6**（今期▲**32.9**）と今期とほぼ同様の窮屈感となる見通しである。借入金を予定している企業は**33.3%**（今期実施**36.7%**）で今期より減少する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は**37.8%**（今期実施**42.1%**）で今期より減少する見通しである。

◆DI指数推移

	平成23年			平成24年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲43.2	▲27.7	▲20.8	▲25.3	▲38.4	▲35.9
売 上 額	▲13.6	2.6	▲3.9	▲26.6	▲19.0	▲16.5
受 注 残	▲10.0	▲2.7	▲7.8	▲30.3	▲24.0	▲24.1
収 益	▲24.7	▲11.8	▲18.2	▲36.7	▲29.5	▲23.1
販 売 価 格	▲13.8	▲7.9	▲13.0	▲16.7	▲16.5	▲15.2
原 材 料 価 格	▲45.6	▲35.5	▲26.0	▲16.5	▲6.4	▲1.3
原 材 料 在 庫	6.2	5.2	6.5	10.3	1.3	▲2.6
資 金 繰 り	▲27.1	▲25.4	▲26.0	▲29.1	▲32.9	▲31.6

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	した	30.9%	32.9%	38.2%	43.0%	36.7%	33.3%
	しない	69.1%	67.1%	61.8%	57.0%	63.3%	66.7%
借 入 難 易 度	容 易	13.6%	10.7%	6.6%	10.4%	11.5%	—
	不 変	65.4%	65.3%	68.4%	63.6%	62.8%	—
	難	9.9%	10.7%	11.8%	15.6%	10.3%	—
	該当なし	11.1%	13.3%	13.2%	10.4%	15.4%	—

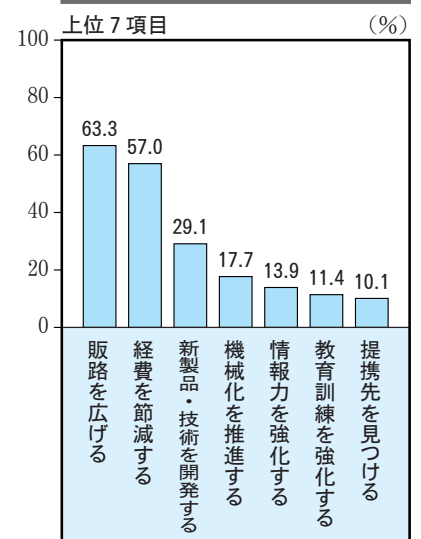
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	した	40.0%	41.4%	41.5%	48.0%	42.1%	37.8%
	しない	60.0%	58.6%	58.5%	52.0%	57.9%	62.2%
状 況	過 剰	16.0%	13.2%	15.8%	14.1%	11.4%	12.8%
	適 正	70.4%	71.0%	68.4%	76.9%	73.4%	64.1%
	不 足	13.6%	15.8%	15.8%	9.0%	15.2%	23.1%
DI	2.4	▲2.6	0.0	5.1	▲3.8	▲10.3	

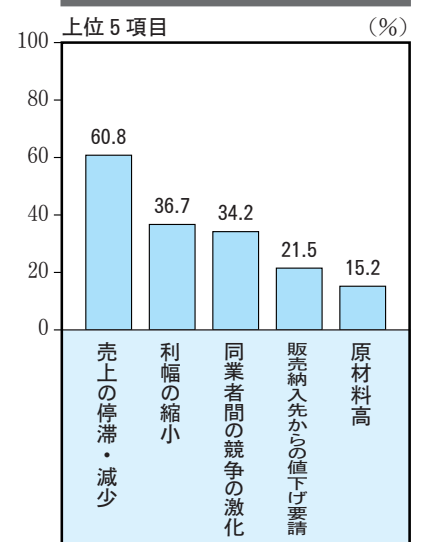
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	14.8%	21.3%	23.4%	15.2%	12.7%	7.6%
	不 変	55.6%	52.0%	55.8%	53.2%	56.9%	60.8%
	減 少	29.6%	26.7%	20.8%	31.6%	30.4%	31.6%
人 手	過 剰	27.2%	18.4%	14.3%	29.1%	15.2%	13.9%
	適 正	66.6%	67.1%	77.9%	58.2%	78.5%	76.0%
	不 足	6.2%	14.5%	7.8%	12.7%	6.3%	10.1%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



建設業

(調査先企業 49 社 うち回答企業 45 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**10.9%**（前期**15.6%**）、悪かったとする企業は、**43.5%**（前期**37.8%**）で、DIは**▲32.6**（前期**▲22.2**）と**10.4**ポイント悪化し、厳しさを強めた。

各指標別を見ると、売上額は前期に比べてDI**▲28.9**（前期**▲17.4**）で**11.5**ポイント減少し、厳しさを強めた。受注残はDI**▲13.3**（前期**▲22.2**）と**8.9**ポイント改善した。また、施工高はDI**▲31.1**（前期**▲6.7**）と**24.4**ポイント減少し、減少幅が拡大した。価格面では請負価格がDI**▲35.6**（前期**▲41.3**）と**5.7**ポイント改善した。材料価格はDI**▲15.6**（前期**▲23.9**）と**8.3**ポイント上がり、価格が上昇したとする企業の割合は減少した。収益面は前期に比べDI**▲40.0**（前期**▲26.1**）で**13.9**ポイント減少を強めた。在庫は前期と比べてDI**6.7**（前期**6.6**）と**0.1**ポイント改善した。資金繰りについては、前期に比べてDI**▲33.3**（前期**▲28.3**）と**5.0**ポイント厳しさが増した。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲24.5**（前年同期**▲41.6**）と**17.1**ポイント改善、収益面はDI**▲24.5**（前年同期**▲47.9**）と**23.4**ポイント好転した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI**▲34.1**（今期**▲32.6**）と**1.5**ポイント悪化し引き続き低調感を強める景況予想である。

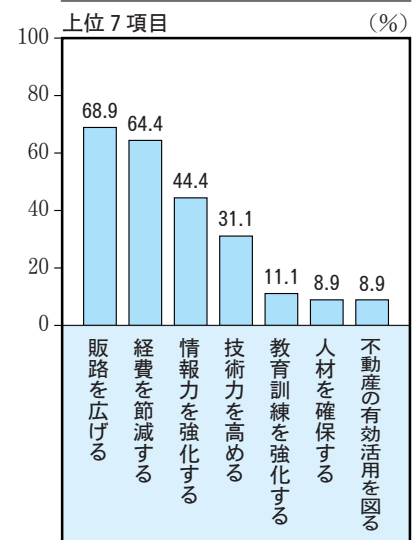
各指標別においては、売上額のDIは**▲22.2**（今期**▲28.9**）と**6.7**ポイント改善し、水面下ながら上昇する見通しである。受注残も**▲8.9**（今期**▲13.3**）と**4.4**ポイント改善し、僅かではあるが上昇する見通しである。収益面のDIは**▲28.9**（今期**▲40.0**）と**11.1**ポイント増加する見通しで、水面下ながら好転する収益環境である。資金繰りのDIは**▲24.4**（今期**▲33.3**）と**8.9**ポイント改善し、厳しさが和らぐ業界見通しである。

※「売上高＝完成工事高」、「施工高＝出来高」、「請負価格＝受注額」

◆DI指数推移

	平成23年			平成24年		予 想
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	▲52.1	▲36.4	▲26.6	▲22.2	▲32.6	▲34.1
売 上 額	▲37.5	▲27.2	2.2	▲17.4	▲28.9	▲22.2
受 注 残	▲37.5	▲25.0	2.2	▲22.2	▲13.3	▲8.9
収 益	▲52.1	▲43.2	▲22.2	▲26.1	▲40.0	▲28.9
請 負 価 格	▲27.1	▲22.7	▲15.5	▲41.3	▲35.6	▲35.6
材 料 価 格	▲56.3	▲38.6	▲33.3	▲23.9	▲15.6	▲13.3
在 庫	▲2.2	7.0	▲2.3	6.6	6.7	4.4
資 金 繰 り	▲35.4	▲31.8	▲37.8	▲28.3	▲33.3	▲24.4

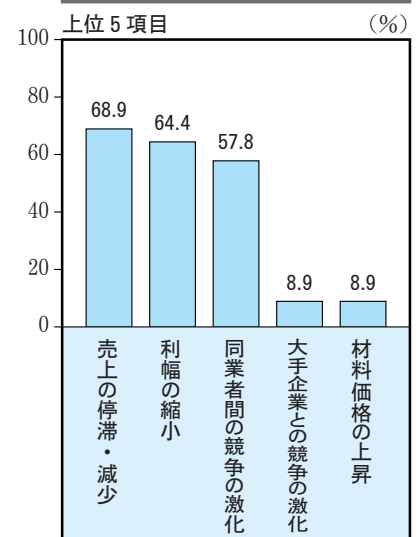
重点経営施策（複数回答）



◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
借 入 実 施	した	43.8%	40.9%	62.2%	58.7%	54.5%	53.5%
	しない	56.2%	59.1%	37.8%	41.3%	45.5%	46.5%
借 入 難 易 度	容 易	6.3%	11.6%	11.1%	6.5%	9.3%	—
	不 変	58.2%	65.1%	57.8%	60.9%	62.8%	—
	難	29.2%	14.0%	24.4%	23.9%	20.9%	—
	該当なし	6.3%	9.3%	6.7%	8.7%	7.0%	—

経営上の問題点（複数回答）



◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
実 施	した	28.3%	27.5%	25.0%	16.0%	18.8%	16.3%
	しない	71.7%	72.5%	75.0%	84.0%	81.2%	83.7%
状 況	過 剰	8.5%	9.1%	2.2%	10.9%	14.0%	9.3%
	適 正	78.7%	79.5%	84.5%	78.2%	76.7%	81.4%
	不 足	12.8%	11.4%	13.3%	10.9%	9.3%	9.3%
DI	▲4.3	▲2.3	▲11.1	0.0	4.7	0.0	

◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
残 業 時 間	増 加	4.2%	2.3%	6.7%	8.9%	4.4%	4.5%
	不 変	70.8%	79.5%	80.0%	75.5%	64.5%	70.5%
	減 少	25.0%	18.2%	13.3%	15.6%	31.1%	25.0%
人 手	過 剰	25.0%	15.9%	17.8%	13.0%	26.7%	22.7%
	適 正	66.7%	75.0%	57.8%	63.1%	57.7%	63.7%
	不 足	8.3%	9.1%	24.4%	23.9%	15.6%	13.6%

卸 売 業 (調査先企業 11 社 うち回答企業 10 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**0.0%**（前期**36.4%**）で、悪かったとする企業は**20.0%**（前期**18.2%**）で**DI▲20.0**（前期**18.2**）と**38.2**ポイント減少しマイナスに転じた。

各指標別に見ると、**売上額**は、前期比では**DI▲40.0**（前期**▲27.2**）と**12.8**ポイント更に減少した。**販売価格**は**DI0.0**（前期**▲18.2**）で**18.2**ポイント上昇し、価格は落ち着いている。**仕入価格**の**DI**は**▲10.0**（前期**18.2**）と**28.2**ポイント下がり、上昇から下降へ転じた。**収益面**は前期比で**DI▲30.0**（前期**▲18.2**）と**11.8**ポイント悪化し厳しさが増した。**資金繰り**については**DI0.0**（前期**▲27.3**）で**27.3**ポイント厳しさが和らいだ。**借入れ**を実施した企業は**44.4%**（前期**50.0%**）と減少、**設備の状況**については適正とする企業は**90.0%**（前期**77.8%**）と**12.2**ポイント上昇、**設備投資の実施**をした企業は**10.0%**（前期**8.3%**）と横ばいとなっている。

前年同期比で見ると、**売上額**は**DI0.0**（前年同期**9.1**）と**9.1**ポイント落ち込んだ。**収益面**も**DI11.1**（前年同期**▲9.1**）と**20.2**ポイント前期を上回った。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、**DI▲20.0**（今期**▲20.0**）と横ばいであり、水面下での伸び悩みが予想される。

主な指標で見ると、**売上額**の**DI**は**▲20.0**（今期**▲40.0**）と**20.0**ポイント増加し、回復の兆しが予想される見通しである。**収益**の**DI**も**▲20.0**（今期**▲30.0**）と**10.0**ポイント増加し、回復の兆しが予想される見通しである。**販売価格**は**DI0.0**（今期**0.0**）で横ばいであり、販売価格は落ち着く見通しである。**仕入価格**も**DI**は**▲10.0**（今期**▲10.0**）と横ばいであり、仕入れ価格は今後落ち着く見通しである。**借入れ**を予定している企業は**11.1%**（今期実績**44.4%**）と今期より大幅に減少する予定である。**設備投資の実施**を予定している企業は**0.0%**（今期実績**10.0%**）で来期の設備投資の実施は減少する見通しである。

◆DI指数推移

	平成23年			平成24年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲36.4	▲27.3	12.5	18.2	▲20.0	▲20.0
売 上 額	▲9.1	9.1	37.5	▲27.2	▲40.0	▲20.0
収 益	▲18.2	9.1	12.5	▲18.2	▲30.0	▲20.0
販 売 価 格	18.2	27.3	0.0	▲18.2	0.0	0.0
仕 入 価 格	▲36.4	▲45.5	▲25.0	18.2	▲10.0	▲10.0
在 庫	0.0	27.3	12.5	9.1	20.0	20.0
資 金 繰 り	▲9.1	▲27.3	▲12.5	▲27.3	0.0	▲10.0

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	した	70.0%	40.0%	28.6%	50.0%	44.4%	11.1%
	しない	30.0%	60.0%	71.4%	50.0%	55.6%	88.9%
借 入 難 易 度	容 易	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	—
	不 変	70.0%	88.9%	75.0%	60.0%	70.0%	—
	難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—
	該当なし	20.0%	11.1%	25.0%	20.0%	10.0%	—

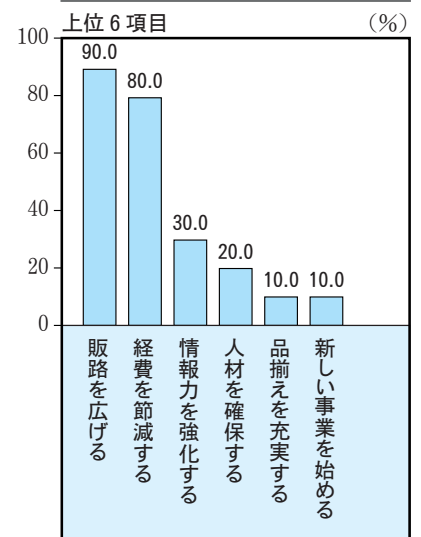
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	した	0.0%	18.2%	12.5%	8.3%	10.0%	0.0%
	しない	100.0%	81.8%	87.5%	91.7%	90.0%	100.0%
状 況	過 剰	9.1%	9.1%	12.5%	22.2%	10.0%	11.1%
	適 正	90.9%	90.9%	87.5%	77.8%	90.0%	88.9%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
DI	9.1	9.1	12.5	22.2	10.0	11.1	

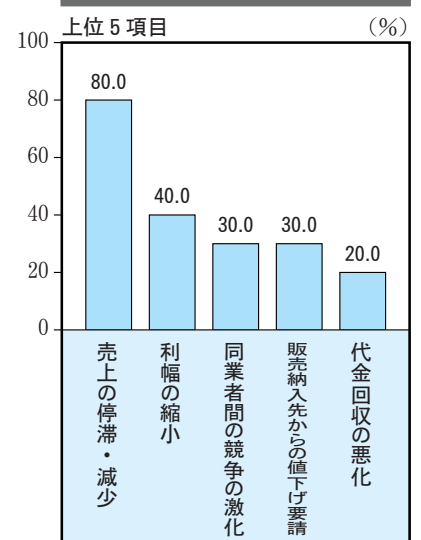
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	0.0%	11.1%	12.5%	0.0%	11.1%	0.0%
	不 変	80.0%	66.7%	87.5%	81.8%	77.8%	88.9%
	減 少	20.0%	22.2%	0.0%	18.2%	11.1%	11.1%
人 手	過 剰	18.2%	18.2%	12.5%	18.2%	20.0%	10.0%
	適 正	81.8%	81.8%	62.5%	72.7%	80.0%	90.0%
	不 足	0.0%	0.0%	25.0%	9.1%	0.0%	0.0%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



小 売 業 (調査先企業41社 うち回答企業36社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は20.0%（前期10.3%）、悪かったとする企業は51.4%（前期56.4%）で、DI▲31.4（前期▲46.1）と14.7ポイント悪化幅が縮小した。

各指標別に見ると、売上額は、前期比ではDI▲25.0（前期▲20.6）と4.4ポイント減少を強めた。販売価格については、前期比ではDI▲20.0（前期7.7）と27.7ポイント減少し販売価格は上昇から下降へと転じた。また仕入価格のDIは▲2.9（前期▲15.4）と12.5ポイント上昇し、仕入価格は上昇が弱まった。収益面では、前期比でDI▲25.0（前期▲33.4）と8.4ポイント増加した。資金繰りのDIは▲16.7（前期▲25.6）と8.9ポイント改善した。今期借入れをした企業は28.6%（前期26.3%）で前期より増加した。今期設備投資の実施をした企業は18.4%（前期12.5%）で前期より増加した。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲19.4（前年同期▲29.3）と9.9ポイント増加したが、収益面はDI▲13.9（前年同期▲48.7）と前年同期より改善している。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI▲48.5（今期▲31.4）と17.1ポイント減少し、業況感がさらに落ち込む見通しとなっている。

各指標別では、売上額のDIは▲33.4（今期▲25.0）と8.4ポイント減少する予想となっており、収益のDIも▲30.5（今期▲25.0）で5.5ポイント減少する見通しである。借入れを予定している企業は22.9%（今期実施28.6%）と今期より減少する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は18.9%（今期実施18.4%）となっており、小売業における設備投資需要は同水準にて推移する予想となっている。

◆DI指数推移

	平成23年			平成24年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲53.7	▲37.5	▲50.0	▲46.1	▲31.4	▲48.5
売 上 額	▲39.0	▲12.5	▲13.8	▲20.6	▲25.0	▲33.4
収 益	▲48.8	▲37.5	▲30.5	▲33.4	▲25.0	▲30.5
販 売 価 格	▲19.5	▲17.5	▲5.6	7.7	▲20.0	▲25.7
材 料 価 格	7.3	7.5	▲13.8	▲15.4	▲2.9	0.0
在 庫	7.3	2.5	27.8	28.2	16.6	13.8
資 金 繰 り	▲34.2	▲25.0	▲22.2	▲25.6	▲16.7	▲30.5

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	した	17.1%	25.6%	29.4%	26.3%	28.6%	22.9%
	しない	82.9%	74.4%	70.6%	73.7%	71.4%	77.1%
借 入 難 易 度	容 易	7.5%	5.4%	14.3%	11.1%	17.6%	—
	不 変	52.5%	48.7%	45.7%	58.4%	41.2%	—
	難	7.5%	18.9%	20.0%	11.1%	20.6%	—
	該当なし	32.5%	27.0%	20.0%	19.4%	20.6%	—

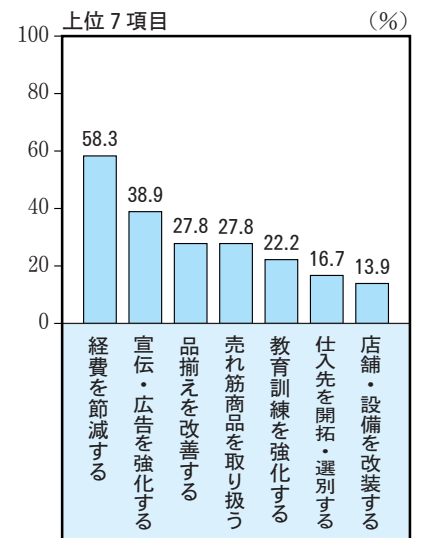
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	した	7.3%	10.0%	17.1%	12.5%	18.4%	18.9%
	しない	92.7%	90.0%	82.9%	87.5%	81.6%	81.1%
状 況	過 剰	7.7%	8.1%	3.0%	7.9%	14.7%	12.5%
	適 正	76.9%	70.3%	69.7%	78.9%	64.7%	65.6%
	不 足	15.4%	21.6%	27.3%	13.2%	20.6%	21.9%
DI	▲7.7	▲13.5	▲24.3	▲5.3	▲5.9	▲9.4	

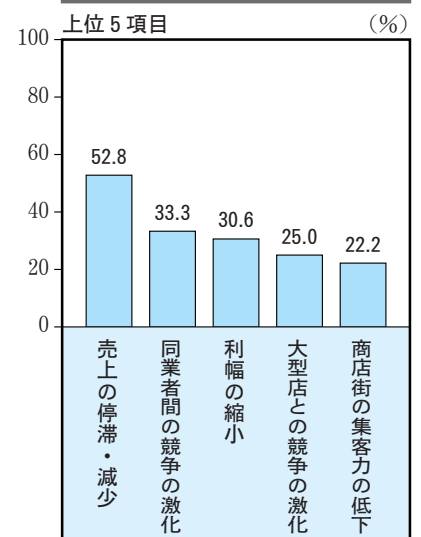
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	11.1%	5.4%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%
	不 変	77.8%	83.8%	90.6%	83.8%	72.7%	71.9%
	減 少	11.1%	10.8%	9.4%	16.2%	21.2%	28.1%
人 手	過 剰	8.1%	10.5%	5.7%	15.8%	14.3%	14.3%
	適 正	86.5%	68.4%	74.3%	71.0%	74.3%	71.4%
	不 足	5.4%	21.1%	20.0%	13.2%	11.4%	14.3%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



サービス業 (調査先企業 31 社 うち回答企業 29 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**17.2%**（前期**6.5%**）、悪かったとする企業は**51.7%**（前期**67.7%**）で、DIは**▲34.5**（前期**▲61.2**）と**26.7**ポイント上昇し、水面下ながら改善した。

各指標別で見ると、**売上額**は前期と比べ**DI▲3.4**（前期**▲51.6**）と**48.2**ポイント改善し、大きく改善した。**収益**のDIも**▲10.4**（前期**▲54.8**）と**44.4**ポイント大きく改善した。**資金繰り**のDIは**▲34.5**（前期**▲45.1**）と**10.6**ポイント上昇し厳しさが和らいだ。**借入面**は、今期借入れをした企業は**25.9%**（前期**35.5%**）と減少した。借入れが容易とする企業は**7.1%**（前期**6.7%**）、難しいとする企業は**25.0%**（前期**10.0%**）となっている。**材料価格**のDIは**▲31.1**（前期**▲22.6**）で仕入価格が上昇した企業の割合が増加した。また**料金価格**のDIは**▲0.0**（前期**▲9.7**）と**9.7**ポイント改善した。**設備の状況**については、過剰とする企業は**13.8%**（前期**10.0%**）と増加、不足とする企業は**20.7%**（前期**13.3%**）と増加になっている。また今期**設備投資の実施**をした企業は**37.5%**（前期**21.9%**）と増加した。

前年同期比で見ると、**売上額**は**DI0.0**（前年同期**▲54.8**）と**54.8**ポイント増加、**収益面**も**DI▲13.8**（前年同期**▲54.8**）と**41.0**ポイント増加した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、**DI▲31.0**（今期**▲34.5**）と**3.5**ポイント増加し、悪化幅が僅かながら改善する見通しである。

主な指標で見ると、**売上額**のDI**▲17.8**（今期**▲3.4**）と**14.4**ポイント減少する見通しである。**収益**のDIも**▲28.6**（今期**▲10.4**）と**18.2**ポイント減少し来期は悪化する見通しである。**資金繰り**のDIは**▲21.4**（今期**▲34.5**）と窮屈感が緩和する見通しである。**借入れ**を予定している企業は**18.5%**（今期実施**25.9%**）と今期より減少する見通しであり、**設備投資の実施**を予定している企業は**26.7%**（今期実施**37.5%**）と今期より減少する予想である。

◆DI指数推移

	平成23年			平成24年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲64.5	▲42.8	▲46.7	▲61.2	▲34.5	▲31.0
売 上 額	▲25.8	▲13.8	▲16.7	▲51.6	▲3.4	▲17.8
収 益	▲48.4	▲17.3	▲26.7	▲54.8	▲10.4	▲28.6
料 金 価 格	▲6.4	3.5	▲10.0	▲9.7	0.0	▲3.6
材 料 価 格	▲32.3	▲31.1	▲40.0	▲22.6	▲31.1	▲21.4
資 金 繰 り	▲48.3	▲27.6	▲40.0	▲45.1	▲34.5	▲21.4

◆借入金の動き・難易度 (有効回答に占める割合)

		平成23年			平成24年		予 想
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
借 入 実 施	し た	29.0%	20.7%	23.3%	35.5%	25.9%	18.5%
	し ない	71.0%	79.3%	76.7%	64.5%	74.1%	81.5%
借 入 難 易 度	容 易	6.7%	3.7%	7.1%	6.7%	7.1%	—
	不 変	63.3%	70.4%	67.9%	70.0%	57.2%	—
	難	13.3%	11.1%	14.3%	10.0%	25.0%	—
	該 当 な し	16.7%	14.8%	10.7%	13.3%	10.7%	—

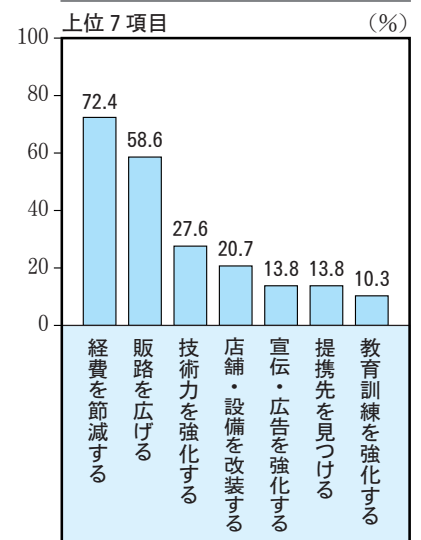
◆設備投資の動き (有効回答に占める割合)

		平成23年			平成24年		予 想
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
実 施	し た	34.3%	26.7%	16.1%	21.9%	37.5%	26.7%
	し ない	65.7%	73.3%	83.9%	78.1%	62.5%	73.3%
状 況	過 剰	6.9%	7.4%	3.3%	10.0%	13.8%	10.3%
	適 正	72.4%	74.1%	70.0%	76.7%	65.5%	65.6%
	不 足	20.7%	18.5%	26.7%	13.3%	20.7%	24.1%
D I		▲13.8	▲11.1	▲23.4	▲3.3	▲6.9	▲13.8

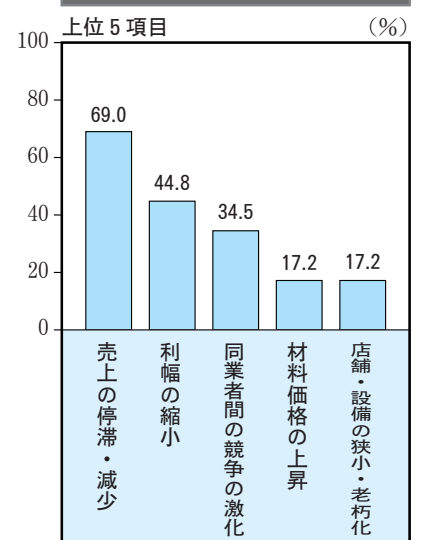
◆雇用面の動き (有効回答に占める割合)

		平成23年			平成24年		予 想
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
残 業 時 間	増 加	3.6%	15.4%	7.1%	6.9%	10.7%	10.7%
	不 変	53.5%	61.5%	78.6%	65.5%	64.3%	67.9%
	減 少	42.9%	23.1%	14.3%	27.6%	25.0%	21.4%
人 手	過 剰	26.7%	10.3%	6.7%	26.7%	24.1%	20.7%
	適 正	73.3%	79.4%	60.0%	60.0%	72.5%	65.5%
	不 足	0.0%	10.3%	33.3%	13.3%	3.4%	13.8%

重点経営施策 (複数回答)



経営上の問題点 (複数回答)



不動産業 (調査先企業6社 うち回答企業6社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**16.7%**（前期**16.7%**）、悪かったとする企業は**33.3%**（前期**50.0%**）で、**DI▲16.6**（前期**▲33.3**）と**16.7**ポイントマイナス幅が縮小した。

各指標別で見ると、**売上額**は前期に比べ**DI0.0**（前期**▲16.6**）と**16.6**ポイント増加となった。**収益面**については**DI33.3**（前期**16.6**）と**16.7**ポイント増加傾向を強めた。**販売価格**の**DI**は**▲33.3**（前期**▲16.7**）と**16.6**ポイント減少し販売価格の低下が2期連続となっている。**仕入価格**の**DI**も**50.0**（前期**33.3**）と仕入価格も低下した。今期借入れをした企業は**16.7%**（前期**0.0%**）と**16.7**ポイント上昇した。

前年同期比で見ると、**売上額**は**DI0.0**（前年同期**▲12.5**）と**12.5**ポイント増加し改善、**収益面**も**DI33.3**（前年同期**12.5**）と**20.8**ポイント増加し好転した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては**DI▲0.0**（今期**▲16.6**）と**16.6**ポイント上昇し好調感が見られる。

各指標別では、**売上額**は**DI▲16.6**（今期**0.0**）と低迷する見通しである。**収益面**については**DI16.6**（今期**33.3**）と**16.7**ポイント減少し前期を下回る見通しである。**販売価格**の**DI**は**▲16.7**（今期**▲33.3**）と販売価格は好調感が後退する見通しである。**仕入価格**は**DI33.3**（今期**50.0**）と下降を予想する企業の割合が減少する見通しである。**借入れ**を予定している企業は**0.0%**（今期実施**16.7%**）で借入れの実施なしとなる見通しである。

◆DI指数推移

	平成23年			平成24年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲25.0	▲28.6	▲42.9	▲33.3	▲16.6	0.0
売 上 額	▲12.5	▲28.6	0.0	▲16.6	0.0	▲16.6
収 益	12.5	0.0	14.3	16.6	33.3	16.6
販 売 価 格	▲37.5	▲28.6	▲28.6	▲16.7	▲33.3	▲16.7
仕 入 価 格	50.0	28.6	28.6	33.3	50.0	33.3
在 庫	0.0	▲14.3	0.0	▲16.7	▲16.7	▲16.7
資 金 繰 り	0.0	14.3	0.0	16.7	33.3	16.7

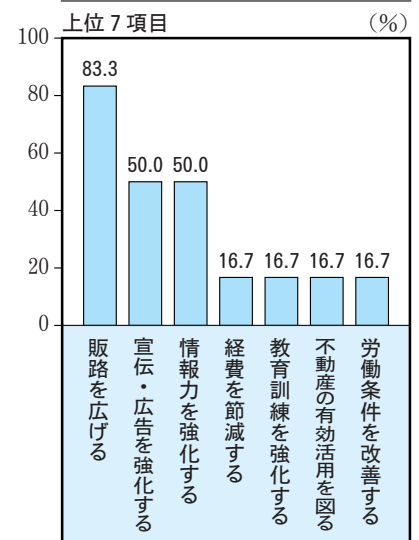
◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	した	12.5%	28.6%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	しない	87.5%	71.4%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%
借 入 難 易 度	容 易	25.0%	28.6%	14.3%	16.7%	0.0%	—
	不 変	50.0%	42.8%	42.8%	83.3%	83.3%	—
	難	25.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	—
	該当なし	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	16.7%	—

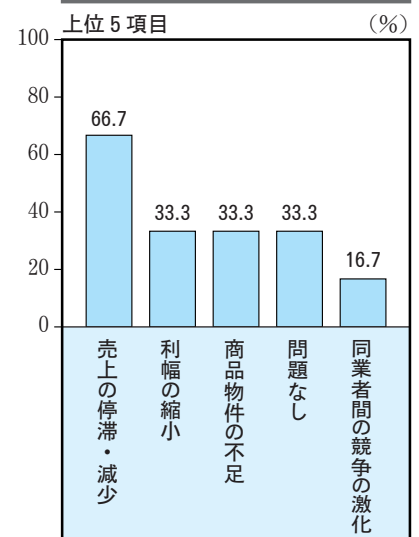
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年			平成24年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	不 変	85.7%	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%
	減 少	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人 手	過 剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	適 正	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



特別調査

中小企業の人手過不足感と人材戦略について

問1 貴社では、最近(東日本大震災以降の1年)における人手の過不足状況をどのように認識していますか。

人手においては、全業種平均で**70.3%**が適正と認識している。ただし、現場作業関係においては、**製造業**で人手不足**7.6%**、人手過剰**13.9%**、**建設業**で人手不足**13.0%**、人手過剰**15.2%**と正反対の回答があり、同業種でも企業間の格差が見られる。

【人手不足】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 現場作業関係	7.4%	7.6%	13.0%	10.0%	6.3%	0.0%	0.0%
2. 営業・販売関係	4.4%	1.3%	6.5%	0.0%	15.6%	0.0%	0.0%
3. 経理・財務・管理関係	2.5%	3.8%	2.2%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%
4. その他の職種	1.5%	2.5%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5. 適正	70.3%	68.4%	58.7%	90.0%	71.9%	79.3%	100.0%
【人手過剰】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
6. 現場作業関係	11.4%	13.9%	15.2%	0.0%	0.0%	17.2%	0.0%
7. 営業・販売関係	1.0%	0.0%	2.2%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%
8. 経理・財務・管理関係	1.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%
9. その他の職種	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問2 貴社では、団塊世代の引退により何らかの影響が見込まれますか。また、貴社の従業員のうち50歳以上の方が占める割合をお答えください。

全業種においては、**46.7%**が対応はとらない(影響がない)と回答している。対応を取る企業では、新卒の採用(総合**10.3%**)より中途・経験者を採用(**17.4%**)もしくは定年延長・再雇用を行う(**17.4%**)とする回答が多い。特に、**建設業**、**卸売業**において定年延長・再雇用を行う企業が多い。50歳以上の割合は、全業種平均で**30%**程度が多いが、**小売業**、**サービス業**、**不動産業**では**50%**以上であり高齢化となっている。

【対応】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 新卒を採用する	10.3%	12.8%	9.1%	10.0%	3.2%	11.1%	20.0%
2. 中途・経験者を採用する	17.4%	21.8%	13.6%	10.0%	16.1%	18.5%	0.0%
3. 定年延長・再雇用を行う	17.4%	16.7%	29.6%	30.0%	12.9%	3.7%	0.0%
4. 技術承継に注力する	8.2%	14.1%	4.5%	0.0%	6.5%	3.7%	0.0%
5. 対応はとらない(影響はない)	46.7%	34.6%	43.2%	50.0%	61.3%	63.0%	80.0%
【50歳以上の割合】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
6. なし(0%)	6.7%	5.1%	2.3%	11.1%	9.4%	7.1%	40.0%
7. ~10%程度	19.0%	18.0%	18.6%	22.2%	18.7%	25.0%	0.0%
8. ~30%程度	33.8%	50.0%	27.9%	55.6%	12.5%	21.4%	0.0%
9. ~50%程度	18.4%	15.4%	27.9%	0.0%	25.0%	14.3%	0.0%
10. 50%以上	22.1%	11.5%	23.3%	11.1%	34.4%	32.2%	60.0%

問3 貴社が、採用活動にあたって利用する求人チャンネルにはどのようなものがありますか。

全業種において**64.9%**の企業が、公共職業安定所(ハローワーク)を利用すると回答している。また、知人・取引先等からの紹介は、**製造業(35.4%)**、**建設業(33.3%)**で高い回答となっている。複数選択のため回答は分散しているが、全業種において企業は優秀な従業員確保のためいろいろなチャンネルを使って採用活動している様子が見える。

【複数回答】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 公共職業安定所(ハローワーク)	64.9%	78.5%	68.9%	60.0%	44.4%	58.6%	16.7%
2. 新聞(折込み広告を含む)	8.3%	7.6%	6.7%	20.0%	11.1%	6.9%	0.0%
3. 求人情報誌	7.3%	3.8%	0.0%	20.0%	11.1%	17.2%	16.7%
4. 自社ホームページ	10.2%	10.1%	17.8%	0.0%	2.8%	13.8%	0.0%
5. 求人情報サイト	3.9%	6.3%	4.4%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%
6. 就職・転職セミナー	7.3%	8.9%	8.9%	10.0%	2.8%	6.9%	0.0%
7. 学校からの紹介	18.0%	22.8%	20.0%	0.0%	11.1%	20.7%	0.0%
8. 知人・取引先等からの紹介	28.8%	35.4%	33.3%	20.0%	16.7%	27.6%	0.0%
9. その他	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%
10. 特になし	22.9%	10.1%	20.0%	30.0%	38.9%	27.6%	83.3%

問 4 貴社では、今後どのような職能・技能を有する人材を採用したいですか。

全業種において、**39.0%**の企業が営業・販売力を持った人材を採用したいと回答している。次いで業種独自の技能・資格を持った人材を採用したい(**33.7%**)となっており、業種による回答の偏りはほとんど見られなかった。各企業においては、売上増を目指して営業、販売能力の高い人材と現場では即戦力となる人材を望んでいる様子が見える。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 営業・販売	39.0%	31.6%	46.7%	90.0%	38.9%	27.6%	50.0%
2. 財務・経理	6.3%	12.7%	4.4%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 企画・管理	11.2%	12.7%	8.9%	0.0%	11.1%	17.2%	0.0%
4. 研究・開発	11.7%	27.8%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5. 法務(労務や特許等)	1.0%	1.3%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%
6. IT関連技能	2.9%	3.8%	0.0%	0.0%	2.8%	6.9%	0.0%
7. 語学力	1.5%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. 業種独自の技能・資格	33.7%	30.4%	48.9%	10.0%	25.0%	44.8%	0.0%
9. その他	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	6.9%	0.0%
10. 職能・技能は問わない	18.5%	20.3%	15.6%	10.0%	19.4%	17.2%	33.3%

問 5 貴社では、震災からの復旧・復興に関連する業務(人的支援や被災地域企業との取引等)を行いましたか。また、その上で日本経済全体の復興という観点から、今後貴社が取り組んでみたいと思う業務は何ですか。

全業種において、**83.7%**の企業が復興関連業務は行っていないと回答している。**建設業の20.5%、小売業の27.6%**の企業においては、行ったと回答しており、まったく行っていない業種もあることから、業界によるバラツキが見られる。

今後取り組んでみたい業務については、総合で**62.7%**の企業が特にないと回答している。次いで環境・エネルギービジネスとの回答が**9.3%**となっている。特に、**製造業では14.5%**の企業がこの分野への取り組みを強化しようとする姿勢が見られる。また、**小売業では27.6%**の企業が被災地域からの調達を検討している回答が特筆される。

【復興関連業務の実施有無】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 行った	16.3%	16.5%	20.5%	0.0%	27.6%	7.1%	0.0%
2. 行っていない	83.7%	83.5%	79.5%	100.0%	72.4%	92.9%	100.0%
【今後取り組みたい業務】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
3. 被災地域への人的支援(人員派遣・被災者雇用等)	5.2%	2.6%	13.6%	10.0%	0.0%	3.6%	0.0%
4. 被災地域での受注・販売	6.2%	7.9%	9.1%	10.0%	0.0%	3.6%	0.0%
5. 被災地域からの調達(仕入・購入)	7.8%	5.3%	4.6%	0.0%	27.6%	3.6%	0.0%
6. 環境・エネルギー関連ビジネス	9.3%	14.5%	4.5%	10.0%	6.9%	3.6%	16.7%
7. 公共インフラ関連ビジネス(道路、堤防、公共施設耐震補強等)	4.1%	1.3%	13.6%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
8. 住宅・生活関連ビジネス(防災、住居移転等)	3.1%	2.6%	2.3%	0.0%	6.9%	0.0%	16.7%
9. その他	1.6%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10. 特にない	62.7%	61.8%	52.3%	70.0%	55.2%	85.6%	66.6%

商品のご案内	
お使いみち	ご自由(事業性資金もOK!)
お申込みいただける方	<ul style="list-style-type: none"> ●満20歳以上、完済時75歳以下の個人または個人事業主の方 ●当金庫の営業地域内に居住または勤務されている方 ●安定継続した収入のある方(パート、アルバイト、年金収入の方もOK) ●世帯収入のある専業主婦(夫)の方
ご融資金額	10万円以上300万円以下(1万円単位)
ご融資利率	<ul style="list-style-type: none"> ●年9.0%(保証料を含む) 固定金利 ●保証会社の審査により年9.0%でお取扱できない場合は、固定金利13.5%(保証料込)のタイプで同時手続きさせていただきます。
ご融資期間	6ヶ月以上7年以内
ご返済方法	<ul style="list-style-type: none"> ●元利均等定額返済(ご返済日は毎月6日・16日のいずれかの日となります) ●お申込金額の50%以内についてボーナス併用返済もごできます。
担保・保証人	不要【(株)クレジットの保証付】

●詳しくは当金庫各支店窓口までお問い合わせください。
●店頭にご覧いただき商品概要説明書をご用意しております。
●審査結果によってはお申込金額の減額またはご希望に添えない場合があります。